

後志教育

No.24

後志教育研修センターだより
平成22年3月4日発行
TEL0136-22-1337
FAX0136-22-2681

後志教育研修センター 22年度構想案

いよいよ3月に入りました。各学校では学期末、卒業式等で大変お忙しい毎日を過ごされていると拝察しております。

新年度に向けて研修センター内では研修講座の決定、講師の選出、講師団会議、第1回組合教育委員会等の会議を経て来年度の研修センターの構想が固まり、3月39日の組合議会の承認を経て構想案が実施されるという段階を踏んで参ります。

1. 運営の基本方針について

詳しくは22年度の開催要項等にも載りますが、「親しまれる研修センター」「魅力ある研修講座」「今日的課題解明を図る調査研究」「教育情報のセンター的役割」等のキーワードを意識しながら運営に当たっていきたくと考えます。

2. 研修講座について

- ① 研修講座数については、21年度と同じ28講座といたします。22年度は、家庭科研修講座が技術科研修講座、図工美術研修講座が特別活動研修講座となります。
- ② 道研との連携については、来年度ミニ道研の講座が柔軟になり、当センターの既存の講座に内容を位置づけることも可能になったことから、例えば道研から要望される情報モラルについては学級経営（中）の中で、校内研究については校内研修講座の中に組み入れることができるようになりました。その講座の受講者には、旅費の措置がされるということです。その他にセンターの既存の講座一つにミニ道研の冠をつけるだけで受講者に旅費の処置がされることもあります。
- ③ 教育局との連携については、昨年度と同程度の連携を考えております。学習指導要領の移行期であること。他の講師と同じ立場であること。運営にも積極的に参加してもらうこと。具体的な話をしてもらうこと。アンケートをとり受講者の意見を取り入れること。また、経費の削減につながるなどから考えております。
- ④ 冬季休業中の研修講座ということで設定しております。パソコン実技が該当になります。
- ⑤ 管内研究所との連携について、余市町、岩内町、京極町、小樽市に研究所があり独自に活動をしておりますが、昨年度の道研連研究発表大会・後志大会でもこれからはそれらの研究所相互の連携を図ることが大切であるということがありました。22年度は講師に依頼する段階でそのことを意識しておりました。
- ⑥ 京極町湧学館をお借りして図書館教育の会場とすること。学校と地域の図書館との連携等も学びます。

3. 後志管内教職員夏季研修会について

- ① 22 年度も北海道教職員厚生会の助成が受けられるということで、後志教育講演会を実施いたします。(8 月上旬) 実行委員会形式で行います。
- ② 23 年度からは、隔年実施となり後志地区が助成の対象となりません。教職員夏季研修会の在り方について検討を始めます。

4. 調査研究事業について

学習指導に関する委員会 校内研究に関する委員会 社会教育に関する委員会の 3 つの委員会を構成して進めていきたい。

運営委員会でのご意見。研修センター受講へこんな工夫を

1 年に 1 回の研修センター運営委員会が開かれ 22 年度の研修センターの事業計画の承認をする場があります。一通りの会議が終わり、研修センターについてお一人ずつ意見をもらいました。その中で各学校での研修センターへの受講の工夫がありました。

- 授業を入れ替えても、自分の教科は必ずいくようにしていること。
- 職員室に研究講座一覧表を掲示していること。本年度は研修の講師に選んでいただいたので研修センターが身近なところにあった感じがすること。
- 指導主事と一緒に講座を運営することもあるので、講師になることはミドルリーダーの育成につながること。
- 研修担当者が呼びかけをしていること。受講することで本人のプラスにもなるし、講師を受けることで自分自身の研修も深まるととらえていること。
- ある町では、教育研究会に先生方の旅費を研修委託という形である程度確保しているということも聴いております。それらを参考にして旅費の確保に努めたい。部会の中でも積極的に参加を呼びかけたい。
- 学校規模がだんだん小さくなってきて、先輩から後輩への具体的な指導がなくなってきている現状がある。今後益々、研修センターの役割が重要になると考えている。

お詫びと訂正

第 23 号で講師名に間違いがありました。大変失礼いたしました。改めて訂正いたします。

算数数学を考える会→算数数学を語る会 学校経営(中)→学級経営(中) 板垣 健
→檜垣 健

特別支援教育 長谷川菜穂子→長谷川奈穂子 幼児教育 斉藤 明子→斉藤 朋子

谷口部長 3 月で退任

研修センターの経理等で 5 年間世話になった谷口事務部長がこの 3 月で退任となります。

研修センターの財政を本格的に立て直していただいた方であります。大変お世話になりました。後任については次号でお知らせいたします。

後志教育研修センターを身近におくために、パソコンのお気に入り画面に研修センターホームページを入れてください。

教頭先生、研修担当の先生 職員室回覧願います。